

「知床エコツーリズム戦略（案）」に対する意見募集の実施結果について

I. 概要

平成24年5月17日から平成24年6月18日までに行った、意見募集の結果は以下のとおりであった。

II. 意見募集の結果

【意見提出者数】

- ・電子メールによるもの 2人

【整理した意見総数】

- ・今回の戦略案に対するもの 10件

【意見提出者の概要】

- ・性別 男性1名 女性1名
- ・職業 大学教員1名、会社員1名
- ・在住地域 北海道内2名

【ご意見と対応方針】

別紙のとおり

Ⅲ. 知床エコツーリズム戦略（案）に対するご意見とその対応

2. 戦略の目的

整理番号	No.	ご意見の概要	対応
120610-1	1	当該戦略の対象場所を遺産地域に限定していないことから、3行目に「遺産地域 <u>内外</u> の全ての関係者が」と記載すべき。	ご意見を踏まえ、修文します。
120610-2	2	2. の文章全体は評価できる。「目標を地域主導で達成する」との文言は特に評価する。	評価いただきありがとうございます。

3. 現状と課題

(2) 現在生じている課題

整理番号	No.	ご意見の概要	対応
120610-3	3	「○登山道等におけるし尿処理や土壌侵食、植生荒廃」について ・軽微な浸食や荒廃も、その管理や修復の体制が整っていることで最小限に抑えることができ、管理体制が最も重要である。このため、「…土壌浸食、植生荒廃 <u>およびその管理修復に関する協働体制の確立</u> 」と記載すべき。	羅臼岳では、関係行政機関及び地元関係団体からなる「羅臼岳登山道維持管理委員会」を設置しており、協働による登山道の管理修復を推進しています。今後とも、協働体制による管理修復のより一層の推進に努めて参ります。

整理番号	No.	ご意見の概要	対応
120610-4	4	<p>項目の追加について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・追加1) 地方と中央行政の役割分担の変化は将来的に必至と考えられることから、 ○権利・権限に関わる地方と中央の行政機関における役割分担の変化 ・追加2) 3.11以降の日本人の中の価値観の変化は特に観光形態に影響を与えると予想されることから、 ○個人的・社会的価値観の変化に伴う観光形態の変容 	<p>1) について、将来的な地方と中央行政の役割分担の変化は予想されますが、役割分担が変化したのちも、行政機関の密接な連携を確保し、さまざまな課題の解決に努めて参ります。</p> <p>2) について、ご意見を踏まえ、一部（P 2, 35 行目）を修文します。また、現在生じている課題には「観光利用のニーズの多様化への対応」を挙げており、ご指摘の内容に対応しているものと考えております。</p>

5. 基本方針

(1) 基本原則

整理番号	No.	ご意見の概要	対応
120610-5	5	3つの基本原則においては、エコツーリズムの基本をしっかりと捕らえている。	評価いただきありがとうございます。

(2) エコツーリズムを含む観光利用の推進にあたって必要な視点

整理番号	No.	ご意見の概要	対応
120606-1	6	<p>「○自然環境を保全すること」について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・該当箇所に以下のように、[餌付け] (もしくは[餌やり]) を追記すべき。 (観光利用により野生動物の生息域の縮小や繁殖率の低下、人馴れ や餌付け による生活環境の変化、・・・といった重大な影響を自然生態系に与えてはならない。) ・ワシ類への餌づけによる個体の集中は、個体群保全のためのやむを得ない計画的餌付けとは言えず、自然分布の変化や人間の生活圏への流入を促進すること、交通事故を引き起こす一要因となること、感染症発生時に悪影響を拡大させることなどの問題が懸念される。知床の野生生物を対象とするエコツーリズムでは「より近距離への接近」や「出現数の多さ」よりも、観光利用者が野生生物本来の生態や生息現状を見て、理解することに主眼をあてるべきではないか。知床で商業的餌付けが開始されてから久しく、ここでは改めて明記する必要があると考える。また、クマ、キツネ等への餌やりに関する普及・啓蒙を含めることも可能と考える。 	餌付けが野生動物に与える影響については認識しております。ワシ類への商業的餌付けの是非については、今後、本戦略に基づき検討していくべき課題と考えており、ご意見は今後の適正利用・エコツーリズム検討会議における検討の際の参考にさせていただきます。
120610-6	7	<p>「○生態系の理解促進」・「○自己責任と管理責任」について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・この2つは非常に大切な項目で、具体的に書き込んでいることは評価に値する。 	評価いただきありがとうございます。

6. 戦略の対象

(1) 戦略の対象となる地域

整理番号	No.	ご意見の概要	対応
120610-7	8	遺産地域に限定せず、利用の分散を念頭にしたこの対象地域の設定は評価できる。	評価いただきありがとうございます。

9. 具体的方策

整理番号	No.	ご意見の概要	対応
120610-8	9	<p>項目の追加（9）として</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域主導の環境保全といっても国や地域外の関係機関や関係者の役割分担も少なくなく、協働型管理が環境保全における具体的な方策として望まれると考えることから、以下を追加すべき。 <p><u>（9）自然環境保全のための国および地域の関係機関や関係者による協働型管理体制の構築</u></p>	<p>協働型管理体制の構築の重要性は認識しております。本戦略ではエコツーリズム等を地域主体で推進し、関係行政機関は統一的な支援を行うこととしております。本戦略に基づく検討や取組を進めることにより、協働型管理体制の構築に努めて参ります。</p>

その他

整理番号	No.	ご意見の概要	対応
120610-9	10	<p>戦略全体として、非常にコンパクトに多くの課題を整理し、かつ的確に戦略が立てられていると評価する。</p>	<p>評価いただきありがとうございます。</p>

IV. 意見募集を踏まえた知床エコツーリズム戦略の修正案について

該当箇所	現行案（平成 24 年 3 月時点）	修正案
P 1 2. 戦略の目的	2. 戦略の目的 この戦略は、知床におけるエコツーリズムを含む観光利用の推進により、自然環境を保全しその価値を向上しながら知床らしい良質な自然体験を提供し、あわせて持続可能な地域社会と経済の構築を図るため、遺産地域の全ての関係者が、共通の将来目標と、その目標を地域主導で達成するための方法を共有することを目的とする。	2. 戦略の目的 この戦略は、知床におけるエコツーリズムを含む観光利用の推進により、自然環境を保全しその価値を向上しながら知床らしい良質な自然体験を提供し、あわせて持続可能な地域社会と経済の構築を図るため、遺産地域 <u>内外</u> の全ての関係者が、共通の将来目標と、その目標を地域主導で達成するための方法を共有することを目的とする。
P 2 3. 現状と課題	(3) 今後予想される課題 ○人口減少、交通システムの変化等による観光客の減少	(3) 今後予想される課題 ○人口減少、交通システム、 <u>価値観</u> の変化等による観光客の減少